

「日限山小学校・南舞岡小学校」 通学区域と学校規模適正化等 検討部会ニュース

第4号

発行日：令和5年7月19日
発行元：「日限山小学校・南舞岡小学校」
通学区域と学校規模適正化等検討部会
(事務局：横浜市教育委員会事務局学校計画課)

第4回検討部会
日時：令和5年6月14日(水)
10時00分から
会場：日限山地域ケアプラザ
多目的ホール1



はじめに

現在、南舞岡小学校は一般学級数が9学級の小規模校となっており、今後も小規模校の状態が継続する見込みです。そのため、「日限山小学校・南舞岡小学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会において、隣接する日限山小学校との間で、南舞岡小学校の規模適正化に向けた具体的な対応を検討しています。6月14日(水)に第4回検討部会を開催しましたので、検討状況等について、保護者の皆様や両校の通学区域内にお住まいの皆様にお伝えします。

第4回検討部会の決定事項など

- ・第3回検討部会での検討内容を踏まえ、各所属団体からの意見報告がありました。
- ・第5回検討部会では、仮に両校を統合した場合のプラン等を検討し、引き続き、南舞岡小学校の規模適正化に向けた具体的な対応案について議論することになりました。
(通学区域調整や学校統合等、具体的な対応案の方向性は決まっていません。)

1 委員の交代

検討部会委員のうち2名の方について、所属団体の役員交代等により退任され、横浜市学校規模適正化等検討委員会条例に基づき、新たに2名の委員を任命しました(敬称略)。

| | 退任した委員 | 任命した委員 |
|-----|---------------------|--------------------|
| 部会長 | 杉本 功 (舞岡地区連合会 前会長) | 金子 昭 (舞岡地区連合会 会長) |
| 委員 | 中野 寿一 (舞岡第三町内会 前会長) | 中田 正彦 (舞岡第三町内会 会長) |

2 検討部会における主な発言や意見(凡例 ☆：各委員の発言 →事務局からの説明)

- ☆ 日本の教育現場で少子化の問題があり、学校の小規模化の問題もたくさん噴出していて、それを解決していかなければいけないという状況があるのだと思います。
- ☆ 今回のような話し合いは、どちらかが100点でどちらかが0点とはいきません。どこかで落としどころを見つけなければいけません。それについてもっと有効な話し合いをしていきたいと思います。
- ☆ 南舞岡小学校が今小規模でどのような問題があるのかに戻って議論するべきだと思います。また、いじめが起きた時に、学年に複数の学級があればクラスを分けることができるという説明がありましたが、まずみんなでそれにぶつかって、本質的な解決ができないかを考えるべきだと思います。
- ☆ 所属団体の中で、オンラインのアンケートで意見を尋ねたところ、所属団体に1,000所帯あるうち、13件の回答をいただきました。ご回答いただいた中では統合に賛成という方はほとんどいません。
- ☆ 説明会を開催し、統合した時のメリットや具体的なプランを示し、統合することによって現状をどのように改善するのか、明るいプランを説明しないと、方向性をまとめるのは難しいと思います。
- ☆ 部会での結論は意見書として提出するとのことですが、多数決でまとめるのか、いろいろな意見を列挙するのか、まとめ方を明確にしていきたいです。
- ☆ 全国的に少子化が進んでいるので、小規模校の基準を見直していきたいです。
- ☆ 子どもの人数や学級数が更に減少していった場合、運動会や合唱等を行った時に、果たして今と同じような盛り上がりや活動内容、子ども達の人格形成や成長ができるのだろうかと感じます。子ども達の活動を保障していくという点からも検討していただきたいと思います。
- ☆ いじめがない学校はないと考えています。先生は子ども達から話を聞き丁寧に対応していますが、その上で、やはり同じクラスにいるのが怖いと言われた時、単学級では分けることができません。同じクラスで皆一緒に仲良くやっていくのが一番良いのですが、そのような心理面でなかなか難しいこともあります。そうなった時に、当該の子を別室にするというようなことではなく、子ども達の安全安心という点で、違うクラスだったら、という場合もあります。

- ☆ 学級数が少ない学校は先生の人数も少なく、その業務量はかなり多くなっています。では人数を増やせば良いかという、先生になってくれる人がなかなか少ないのが現状です。
- ☆ 運動会一つ実施するのに必要な仕事量ほどの学校でも変わらず、先生にはたくさんの仕事があります。適正規模校ではそれぞれの仕事を複数の先生で分担できますが、小規模校では一人でいくつもの仕事を抱えることになります。
- ☆ 教員は主に担当する教科が分担されていますが、例えば一つの教科に対して、ある学校では担当が最大8人いる一方、小規模校では2人しかいないなど、一つの教科の学習をどのように進めるかという研究をする上でも、これだけの人数差があります。
- ☆ 小学校6年間単学級が続いていく状況において、子ども達が自分自身を客観視する力が伸びないということを感じます。先生が、その学年に応じた力を付けるためにこういうことを目標にやっていると、子ども達に投げかけた場合、当の子ども達は、クラス替えがなく、ずっと同じ人間関係の中で上がってきているので、「何も困っていないのになぜ変えようとするのだろうか」と思う子が出てきます。クラス替えでメンバーが変われば人間関係も変わりますが、そのような新しい刺激もなく、4月になったから新たなスタートだという気持ちが薄くなってしまいます。それが6年間という長きに渡って繰り返されることが、クラス替えのある学校と比べて、子ども達の成長に影響すると思います。
- ☆ いじめの問題が起きた場合、昔は頑張っただけと仲良くしようという教育をしてきたと思いますが、それが現在は通用しない状況です。単学級の場合、子ども達が非常に苦しいだろうと思います。その苦しさから逃れるために、学校に行かないという選択や引っ越すという選択をする方もいるかもしれません。その苦しさには、そういうことに遭った方でないと感じないのではないかと思います。
- ☆ 先生が多いことによるメリットもあると思います。現在、教科分担制が多く学校の進められており、お互いに隣のクラスの授業を持ち合うということをしています。子ども達もいろいろな先生から教えてもらえるので、非常に興味を持って学習できますし、複数の先生から多面的に見てもらえる、多面的に評価してもらえる良さがあると思います。先生側も、ある程度教科を絞って教えることができれば、より深く教材研究することができ、得意な部分を伸ばしながら、子どもに対しても興味が湧くような授業を展開することができると思います。また、先生も怪我や病気をしたり、自分の子どもが病気になったり、休まざるを得ない場合もあります。そのような状況下でも、できるだけ授業を自習にせず前に進めるよう、教えらる先生を配置してやり繰り返すのは非常に大変なことで、人数が多いからこそできることだと思います。それも子ども達にとってのメリットだと思います。
- ☆ この部会は、「子ども達の教育環境をより良くするためにどのようにすれば良いのか」という議論をする場だと思いますので、南舞岡小学校だけではなく、日限山小学校も関係している話だと思います。現状が悪いと言うわけではなく、「教育環境をどのようにしていくことが子ども達にとってより良いのか」を総合的に判断し、そのための意見書を「子ども達にとってどうか」という視点で、出すことが一番の役割だと思います。
- ☆ 小規模校の課題や規模適正化のメリットは良く分かりましたが、私達は地域や保護者からいただいた意見を伝えることしかできません。どうすれば良くなるのか、存続できるのか、横浜市も一緒に考えてほしいです。人数が多くなれば教育環境が改善されることも良く分かりますが、学校がなくなると地域が衰退するのではないかという地域の思いは無視できません。学区変更の検討や、統合を経験した児童・保護者の意見等は、部会を通さずに最初から教育委員会の方から地域に説明して理解を求めてもらわないと、私達はそれぞれ立場が違うので、部会で方向性をまとめるのは難しいと感じます。
- ☆ 西洗地区では、南舞岡小学校が少人数だから良いと思って選んでいる保護者が多く、とても満足しているという声を聞きます。南舞岡小学校の規模を問題だとは思っておらず、小規模をメリットと思って選んでいる保護者としては、良いところもなくなってしまっているのではないかと心配しています。
- ☆ 統合は一時的な解決策であり、数年後にまた小規模校になり、同じことを繰り返すだけだと思います。先生の配置等、学校の制度自体に問題があり、その解決をしていかなければならないと思います。
- ☆ 統合するかしないかだけの議論ではなく、例えば統合校の学校名や使用校舎等、統合した場合のプランを検討して示した上で、統合するべきなのか意見を募って検討するということがなら理解できます。
- ☆ 通学区域の変更が難しいからというだけで統合していく方向で検討するのは少し違うと思います。部会で学校現場の話聞き、納得できる部分もありましたが、教育現場の事情で統合する必要があるということであれば、部会からの意見で統合という進め方ではなく、教育委員会から「教育現場の事情で統合します」と地域や保護者に通達していただきたいです。
- ☆ いじめに関しては、人数が多いと隠れてしまうのではないかと、人数が少ないからこそ酷くなる前に先生が気付いて対策してくださっているのではないかと意見が届いています。

- ☆ 児童数等の数字だけ見て統合を進めるのではなく、総合的な生活環境の向上という視点で、横浜市や戸塚区が積極的に空き家問題に取り組んだり、ファミリー層がこの地域に移住しやすい施策をしたり、住民に寄り添って検討してほしいです。東戸塚小学校の過大規模校の問題と南舞岡小学校の小規模校の問題は独立した問題ではなく、戸塚区という視点で大きく検討していくべき問題だと思います。
- ☆ 小規模校の学校現場の大変な状況が良く分かりました。ただ、保護者にはその苦労は見えていません。良い学校だ、良い先生達だ、小規模のメリットを感じている、という意見しか届いていません。この部会で、意見を発表するだけで終わるのではなく、一つの事柄に対していろいろな面から議論をして深めていけたら良いと思います。
- ☆ いじめに悩み、苦しんでいた方がいます。事前に当事者の方に許可をいただいたのでお話しさせていただきます。ある方は、単学級の中でそのような経験をされ、「他の中学校に進むしかなかった。2クラスあったらまた違ったのかもしれない。」とお話しされていました。また別の方は、4月にクラス替えがあってから学校に通えるようになり、「2クラスあったので救われた。」とお話しされていました。部会に多く寄せられている意見とは違う、いじめに苦しんでいる方、それを声に出せない家庭は、実際に存在していると思います。
- ☆ 日限山小学校の良いところの一例として、いろいろな先生が子ども達を見ている学校現場がとても良いと感じています。もちろん少人数で先生の目が行き届いて友達と仲良くなるというのも良いと思いますが、授業を教えてくれる先生が何人もいて、いろいろな先生が見てくれている環境で、相性の良い先生が見つかって、子ども達は自分を出せる場所を持てるのではないかと思います。ずっと同じ先生というよりは、いろいろな先生から刺激をもらった方が良いのかなと思います。
- ☆ 例えば南舞岡小学校の子ども達が、いろいろな先生から授業を教わったり、廊下を歩けば何人も先生と会ったりという環境になったとき、どのように感じるのだろうと思います。実際にそのような環境を経験したことがないと思うので分かりませんが、子ども達本人が、小規模校が良いと強く思っているのか、それとも保護者が思っているのかというのが、難しい問題だと思います。子ども達の想いと保護者の想いというのも少しずつできてきているのかなと思うところがあるので、子ども達をクローズアップして意見をいただけると良いのではないかと思います。
- ☆ 小規模校ならではの良さもたくさんあると思いますが、現場で働く先生方の意見が一番切実なのではないかと思います。先生なくして学校はありませんし、先生が疲れ切ってお休みしたり、退職する方が増えたりしている現状も、私たちは考えなければならないのではないかと思います。
- ☆ 日限山小学校の保護者の中には、「学校統合した場合、日限山小学校も閉校するの？」とおっしゃっていた方もいましたが、そのことについて説明すると、「それはそうだね。」と受け入れてくださっていました。また、統合についての意見は上がってきておらず、この統合に関して受け入れている状況なのではないかと受け取っています。この部会で、実際に現場で働いている先生や子ども達の状況を改めて聞き、皆様のいろいろな考えや状況があるということを知ることができたので、通学区域の検討だけではなく、そのようなことを改めてしっかり考えて検討を深めていきたいです。
- ☆ これまで、子ども達のために考えようという話や、統合したから地域防災拠点がなくなるわけではないという話もありました。また、本当に困っている人は、なかなかそれを表に出せないというのは、とても心苦しいことです。子ども達が素直に育っていくためにこの部会があると思うので、そういう意味で考えていただけたらありがたいです。
- ☆ 小規模が良いという意見ばかり出ていますが、この部会は、子ども達の教育環境の改善のため、どのようにしたら規模適正化が図れるのかを検討する場だと思います。
- ☆ 学校現場の状況についてお話がありましたが、横浜市の都合だと思います。子どもを主体に考えなければならぬと思うので、困っている子どもがいたら、もう少し手厚く、2人3人の先生を付けてほしいということを主張していかないと、いつまでも平行線だと思います。
- ☆ 最終的な形が見えないと、議論が進まないと思います。実際の意見書の例を見ることはできますか。
⇒ 次回の部会で、他の地域の具体的な意見書の例と、仮に両校を統合した場合のプランを検討するための基本情報を資料にまとめてお持ちしたいと思います。

- ⇒ 部会としての結論の出し方についてご質問いただきましたが、この部会は、いろいろな立場からの意見を伺うために開催しています。部会で議論を深めていく中で、日限山と南舞岡、両方の地域の子ども達にとって一番良い結論を導き出していかなければならないと考えています。その上で、最終的にはその結論を意見書という形で答申することになりますので、それをどのようにまとめていくかということについても、部会の中で話し合っていたらいいと思います。

3 検討部に寄せられた意見及び質問等（凡例 ◆：意見・質問 ⇒：事務局からの回答）

※お寄せいただいたご意見等は全て検討部に報告し、検討の参考とさせていただきます。なお、紙面の都合上、抜粋・要約して掲載しています。

- ◆ いじめが発生した場合にクラス替えができないという点については考慮しなければいけないと思いますが、少子化の進む時代、何人だとしてもクラスを分ければ良いのではないのでしょうか。南舞岡小学校の規模でも本当にいじめなんて発生しているのでしょうか。東戸塚小学校の児童をスクールバスで南舞岡小学校へ通わせてはどうかという意見に対して、地域性の問題で不可という回答でしたが、どのような意味でしょうか。また、区を跨ぐ統合については地域性の問題は発生しないのでしょうか。
- ⇒ いじめや人間関係の問題は、学校規模に関わらず、どの学校でも起こり得る問題であり、学年に複数の学級があることで、解消に向けた対応の幅が広がると考えています。なお、学級編制や教職員配置については、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」に基づき行われています。学区が隣接していない学校との通学区域調整については、通学距離や通学安全、中学校区との関係や、自治会・町内会といった地域コミュニティのまとまり等を考慮すると困難です。行政区については、小学校の所在区が戸塚区と港南区ということで異なりますが、中学校区が同じであることや南舞岡小学校の親校が日限山小学校であること、他の隣接校との通学上の安全等を考慮し、日限山小学校との間で検討を行うことが望ましいと考えています。
- ◆ 先日、南舞岡小学校の運動会が開催されました。午前中で競技を終えることができる児童数、全校児童の競技ができる規模、良い場所で子どもの出番を見ることができる保護者の人数、最高の環境だと思いました。もし先生の人数が少ないことで負担が大きくなっているのであれば、喜んでお手伝いします。ですので、どうか統合をしないでください。
- ◆ 南舞岡、日限山地区には空き家が多くありますが、そこに新たな転入者があれば地区全体の人口増加が見込めます。次の事項について回答をお願いします。
- ①最新のデータにおける、南舞岡、日限山地区の空き家率 ②南舞岡、日限山地区の空き家率の今後の推移 ③南舞岡、日限山地区の子育て世帯転入率の推移
- まちづくりと合わせて小規模校対策を検討してください。まちづくりや教育に対して行っている新しい取り組み等の説明を求めます。また、検討部会に出席している関係課の情報開示をお願いします。
- ⇒ 空き家の割合については、「平成30年度住宅・土地統計調査」の結果を基に算出すると、本市全体では約9.71%、戸塚区では約9.14%、港南区では約8.45%となっています。町丁別の割合及び今後の推移については示されていません。また、本市における各種統計調査に関する情報は、横浜市ホームページにおいて公表しています。子育て世帯の転入率の推移については示されていませんが、住民基本台帳に基づく町丁別の年齢別人口によると、過去5年間の20歳から49歳までの人口の推移は次のとおりです（各年3月末日現在）。
- <南舞岡一丁目～四丁目>
平成31年1,557人、令和2年1,501人、令和3年1,446人、令和4年1,422人、令和5年1,402人
- <日限山一丁目～四丁目>
平成31年2,799人、令和2年2,733人、令和3年2,672人、令和4年2,595人、令和5年2,470人
- なお、検討部会には、港南区及び戸塚区区政推進課並びに教育委員会事務局南部学校教育事務所主導主事室が出席しており、寄せられた御意見についても共有しています。

◆第5回検討部会について ※会議は非公開とすることを決定しました。

日時：令和5年9月11日（月）10時00分から 会場：日限山地域ケアプラザ 多目的ホール2
検討内容：通学区域と学校規模適正化等

◆「日限山小学校・南舞岡小学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会の検討経過等について

検討部会の会議案内や会議録、ニュースについては、ホームページからもご覧いただけます。
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/tekiseika/shokibo/kounantotsuka.html>



◆事務局（お問い合わせ先）

皆様からのご意見やご質問を受け付けております。Eメール、お電話またはFAXでお寄せ下さい。
横浜市教育委員会事務局学校計画課

Eメール：ky-kounan2022@city.yokohama.jp

TEL：045-671-3252

FAX：045-651-1417

